

(表1)令和6年度 動物実験における計画数及び使用動物数

単位 件
匹、頭など

	実験計画数	不実施計画数	マウス	ラット	ウサギ	スナネズミ	モルモット	ハムスター	マーモセット	ニホンザル	アカゲザル	カキイザル	イヌ	ネコ	ブタ (ミニブタ含む)
人間科学研究科	8	0	6 181	2 18											
理学研究科	10	0	10 1,244												
医学系研究科	505	16	317 65,452	114 3,178	20 150	2 2	6 6	3 7	7 15	2 11	6 5	7 20	4 0	3 0	25 97
医学系研究科 (保健学専攻)	20	0	15 2,159	5 222											
歯学研究科	90	2	55 4,770	21 875									2 9		
薬学研究科	38	4	38 11,057	3 332											
工学研究科	9	2	2 67	4 98											
基礎工学研究科	5	0	5 275												
生命機能研究科	26	0	11 21,969	1 67						9 37					
微生物病研究所	73	9	69 22,366	6 134	3 38		1 0	8 184				1 0			
産業科学研究所	5	0	5 518												
蛋白質研究所	7	0	7 2,570												
免疫学フロンティア 研究センター	23	1	22 29,882	2 33											
ヒューマン・メタ バース疾患研究拠点	5	0	2 448	1 19	1 0		1 0								
合計	824	34	564 162,958	159 4,976	24 188	2 2	7 6	12 191	7 15	11 48	6 5	8 20	6 9	3 0	25 97

表1に、大阪大学の教員が動物実験責任者として行った外部研究機関等での実験・飼育を含む。

動物園動物や伴侶動物を対象とした日常場面での行動観察研究は表1には含まず、実験終了時に殺処分を伴わないことを前提とした実験に関しては表2に示す。

表1の使用動物数は、殺処分の有無に関わらず当該年度中に動物実験に供した動物数を計上している。

(表2) 行動・認知・生態調査を目的とする観測を伴わないことを前提とした研究

	実験計画数	不実施計画数	単位																	件 数、頭 など			
			ニホンザル	シロネナガザル	フクロムネペンギン	ホッキョクグマ	ショウガラゴ	ハンビロコウ	イヌ	ワオキツネザル	ネコ	ホンドタヌキ	ハンフトガラス	ハシボソガラス	アライグマ	ハクビシン	ホンギツネ	テン	ニホンアナグマ		ウシ	ツシマヤマネコ	
人間科学研究科	38	1	6【注1】 8【注3】	3【注1】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	2【注4】	1【注2】	1【注4】	3【注5】	2【注5】	2【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】		
			2016	1	20	6	4	2	113	10	5	160	15	15	50	50	5	5	10	10			
理学研究科	0	0																					
医学系研究科	0	0																					
医学系研究科 (保健学専攻)	0	0																					
歯学研究科	0	0																					
薬学研究科	0	0																					
工学研究科	1	0																				1【注5】	
																						0	
基礎工学研究科	0	0																					
生命機能研究科	0	0																					
微生物病研究所	0	0																					
産業科学研究所	0	0																					
蛋白質研究所	0	0																					
免疫学フロンティア 研究センター	0	0																					
ヒューマン・メタ バース疾患研究拠点	0	0																					
合計	39	1	6【注1】 8【注3】	3【注1】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	2【注4】	1【注2】	1【注4】	3【注5】	2【注5】	2【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1【注5】	1	
			2016	1	20	6	4	2	113	10	5	160	15	15	50	50	5	5	10	10	0		

【注1】飼育霊長類を対象とした行動・認知研究

【注2】動物園動物を対象とした行動・認知研究

【注3】野生ニホンザルに対する行動研究または一時的捕獲を伴う生態調査研究

【注4】伴侶動物を対象とした行動・認知研究

【注5】野生動物を対象とした研究

【注6】両生類や魚類を対象とした研究